

## 入選

### いっぱい「ありがとう」を

鹿児島県 池田学園池田小学校 1年 宮元 詩乃

わたしのいえのちかくに、ごみステーションがあります。いつもちかくのおじいちゃんがそうじをしてれています。

おかあさんは、そのおじいちゃんに、

「いつもすみません。わたしもできるひがあれば、おてつだいします。」

とっていました。わたしは、あれっとおもいました。

「どうして、おじいちゃんは、そうじがすきなんだろう。」

と、わたしがいうと、おかあさんは、

「ごみステーションは、つかうひとたちが、こうたいでそうじするのよ。」

と、おしえてくれました。

ほんとうは、そうじセットとどうばんひょうが、ちゃんとあります。でも、それがだれかのいえでずっととまっていた、まわってきていないのだそうです。だから、だれもそうじをしていなかったごみステーションを、おじいちゃんが、いつもそうじしてくれていることをおかあさんからききました。それをきいて、さっきのおかあさんのことばのなぞがとけました。

わたしもおじいちゃんに、

「わたしのかぞくも、てつだいます。」

といました。すると、おじいちゃんは、

「ありがとう。」

といて、にっこりとわらってくれました。

わたしは、「ありがとう」といわれて、すごくうれしくなりました。うれしくなると、とってもいきもちになりました。

それからは、わたしもそうじができるひに、おじいちゃんといっしょにほうきでくようにしています。おかあさんも、

「ちいさなしんせつができたね。ありがとう。」

といてくれます。やっぱり、うれしいいきもちになりました。それに、ごみステーションがきれいになると、きもちがいいです。おじいちゃんといっしょにそうじをするのも、とてもたのしいです。

わたしには、いもうととおとうとがいます。ふたりのたよりになるおねえさんになるために、じぶんにもできる、ちいさなしんせつをいっぱいしていきます。そしていっぱい、

「ありがとう。」

と、いわれるひとになりたいです。